

# 福井県立足羽高等学校

## ESS部、中国語部、JRC部

高校生ボランティア・アワード2022

### 「学校の多文化共生推進」

#### 活動概要

近年、足羽高校では、多くの外国籍生徒が入学し、様々な外国の文化を身近に感じられるようになりました。しかし、言語の壁があり、教室の場所だけでなく先生が職員室のどこでお仕事をされているのかさえもわからない生徒が増えました。そこで昨年度から、ESS部はJRC部と協力し、「ピクトグラムを用いた多文化共生のための学校環境づくり」をテーマとし、活動を始めました。私たちESS部にも多くの外国籍生徒が入部して、言語の壁を乗り越えるために日々英語で活動していますが、次のステップとして、英語だけでなく、多文化共生社会をどう実現できるかを考え始めました。それがピクトグラムを用いて、日本語がわからない人も共生できる学校をつくることでした。

そんな中、足羽高等学校では、令和4年度から新学科・コースが設立されました。多文化共生科日本語コースが新たに設立され、外国人生徒だけのクラスができました。そこで新たに中国語部も加え、ESS部、中国語部、JRC部が共同で「多文化共生のための学校環境づくり」に取り組み続けることが決まり、現在では学校づくりを地域に広げていく活動を始めました。以下の3つの活動は、地域での取り組みです。

- 1 清掃ボランティア
- 2 地域のカフェのメニューの翻訳
- 3 地域に住む外国人留学生との交流活動



### 「地域の多文化共生推進」

#### 活動の目的

- 1 清掃ボランティア

清掃ボランティアは長年にわたり、JRC部が行ってきた活動です。学校から駅までは少し距離があるので、駅までのゴミ拾いを行うだけでも、たくさんの地域の方に声をかけられ、いつもお世話になっている地域の方々への恩返しができます。

- 2 地域のカフェのメニューの翻訳

学校の近くにあるカフェにはたくさんの地域の方々が訪れています。メニューの翻訳を通じた地域活性化を目的として、外国人にもわかるように英語、中国語、ポルトガル語にメニューを翻訳するお手伝いをしました。

- 3 地域に住む外国人留学生との交流活動

地域に住む外国人の中には、留学生もたくさんいます。しかし、彼らの多くは定住しているわけではないので地域との結びつきが薄く、日本人と関わる機会が少ないという問題を抱えています。もっと地域住民と関わる機会が増えれば、本格的な日本語や文化を学ぶことができるため、外国人留学生と日本語を学ぶ合う交流活動を始めました。

### 「多文化共生社会の実現」

- 1 清掃ボランティア

ESS部の外国人生徒とも共同で清掃活動を行ったため、自分たちの学校がどう変わっているのかを地域の方々に知ってもらうことができ、学校と地域との相互理解を深めることにつながりました。今後もこの活動を継続して行っていくことが第一の目標です。

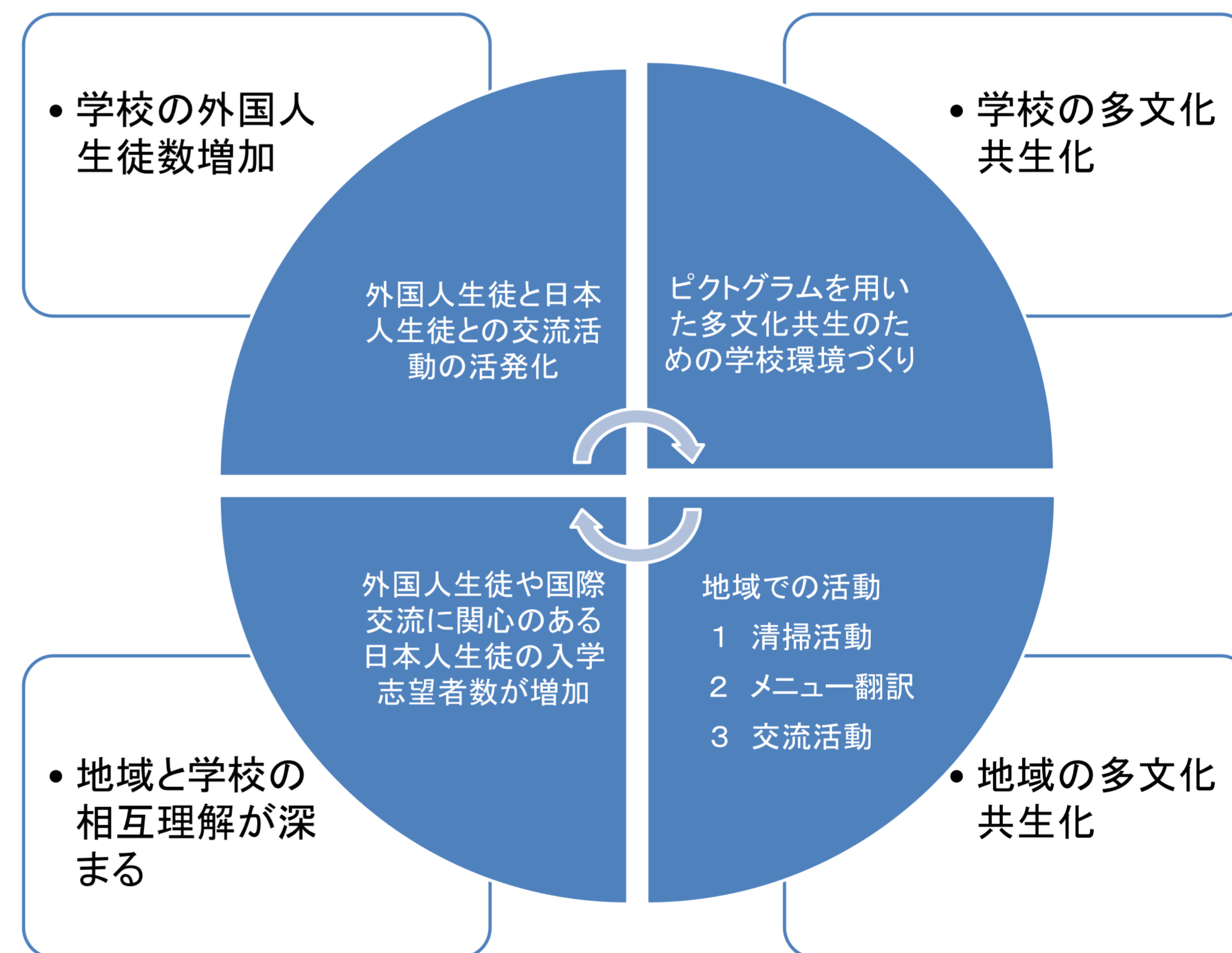
- 2 地域のカフェのメニューの翻訳

足羽高校の生徒も含め、外国人のお客さんがもっと増えれば、より地域のカフェとして活気づくと考えたため、メニューを翻訳するお手伝いをしました。この活動を通して外国人の利用客が増えただけでなく、広く地域の方々に学校の多文化共生のための活動を認知させることにつながりました。今後もこのような学校から地域への広がりを大切にしていきたいです。

- 3 地域に住む外国人留学生との交流活動

外国人留学生と日本語を学ぶ合う交流活動を今後も増やしていき、地域と外国人留学生が結びつく架け橋となることを目指しています。そのため地域のイベントなどを彼らとともに企画し、地域、学校と外国人留学生の相互理解を深めていきたいです。

1～3の活動によって地域、学校、地域に住む外国人との相互理解が深まれば、より本校に関心をもつ外国人生徒や日本人生徒が増え、そして後輩たちがまた新たな取り組みを行っていき、地域と外国人をつないでいくことができます。そういったよい循環が学校や地域に定着していくことで、リアルな多文化共生社会が実現すると考えるため、今後も学校を含めた地域社会全体の多文化共生推進に貢献していきたいです。



### 「目指せ！リアルな多文化共生社会構築！」

本校の多文化共生科には中国語・英語専攻と日本語コースがあり、英語、体育、芸術の授業を合同で行っています。特に英語の授業では外国人生徒と日本人生徒がペアを組み、英語や日本語を教え合っています。そういった学校の多文化共生推進の動きをサポートする活動の一環として、ピクトグラムを用いた学校環境づくりが始まりました。今後はこの学校の取り組みを地域にも広げていき、地域と外国人が本校を媒介としてつながっていきけるような貢献の在り方を模索していきたいと考えています。地域のカフェのメニュー翻訳や地域に住む外国人留学生との交流活動は、地域と外国人を学校がつないでいくための取り組みで、今後も継続して取り組んでいきたいです。

地域と学校、また地域に住む外国人との相互理解が深まれば、より本校に関心をもつ外国人生徒や日本人生徒が増え、後輩たちがまた新たな取り組みを行っていき、地域と外国人をつないでいくことができます。そういったよい循環が学校や地域に定着していくことで、リアルな多文化共生社会が実現すると考えるため、今後も学校を含めた地域社会全体の多文化共生推進に貢献していきたいです。



#### 活動団体プロフィール

**ESS部**  
近年外国人生徒が多く入部してきたことにより、多文化共生にむけた学校環境づくりを本格的に始動。昨年度から他の部と共同で高校生ボランティアアワードに出場している。

**中国語部**  
国際科中国語コースが設立されて以来10年以上の歴史をもつ。輝かしい実績をもち、毎年世界大会に出場している。

**JRC部**  
毎年高校生ボランティアアワードに出場している。数々の実績がある部で、3年前にはボランティアアワードでの入賞を果たす。